

債券・為替 ウィークリーレポート



カナダ



ブラジル



メキシコ



オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー


















南アフリカ



インドネシア



インド

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		12/14 （12/7との比較）	12/14 （12/7との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
カナダ 	AAA	2.10% （+0.03）	84.71円 （+0.14%）	+2.1% 2018年3Q	1.75%	発表された住宅着工件数は市場予想を上回る結果。ECB（欧州中央銀行）理事会による量的緩和政策終了の発表を受け、中銀の更なる金融正常化が期待されたことなどから、国債利回りは上昇。カナダドルは対円で上昇。	CPI（消費者物価指数）や小売売上高、GDP（国内総生産）などが発表予定。引き続き、米中貿易摩擦問題などの外部要因に影響を受けやすい展開を予想。債券・為替市場はともに概ねレンジ内での推移を想定。
	Aaa	 金利横ばい	 金利横ばい	 景気安定	 利上げ局面		
ブラジル 	BB-	8.75% （+0.09）	28.98円 （+0.45%）	+1.3% 2018年3Q	6.50%	中銀は金融政策決定会合で政策金利の据え置きを決定。エンブラエルと米ボーイングによる合併計画差し止め命令の破棄を市場が好感したことなどから、レアルは対円で上昇。国債利回りは上昇。	経常収支などが発表予定。特段市場に影響する国内イベント等がないことなどから、米中貿易摩擦問題や、英国の欧州離脱問題など、外部要因の行方に要注目。債券・為替市場はともに概ねレンジ内での推移を想定。
	Ba2	 金利横ばい	 金利横ばい	 景気回復	 据え置き局面		
メキシコ 	A-	8.82% （▲0.09）	5.60円 （+0.66%）	+2.5% 2018年3Q	8.00%	発表された鉱工業生産は市場予想を下回る結果。ロペスオブラドル大統領がエネルギー改革を中止しないとの姿勢を示したことが市場に好感されたことなどから、メキシコペソは対円で上昇。国債利回りは低下。	小売売上高などが発表予定。引き続き、外部要因による影響は受けつつも、週末に発表された19年予算案が市場に配慮した内容となったことなどから、債券・為替市場はともに底堅く推移すると想定。
	A3	 金利横ばい	 金利横ばい	 景気安定	 利上げ局面		

出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（カナダ：10年、ブラジル：4年、メキシコ：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
















※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。

※政策金利については、カナダ：翌日物貸出金利、ブラジル：Selicレート、メキシコ：翌日物金利を表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		12/14 （12/7との比較）	12/14 （12/7との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
オーストラリア 	AAA	2.46% （+0.02）	81.34円 （+0.31%）	+2.8% 2018年3Q	1.50%	発表された製造業PMIは前回分を下回る結果。引き続き、外部要因に左右される中、中国通信会社大手ファーウェイ幹部の保釈報道などを受け、豪ドルは対円で上昇。国債利回りは小幅上昇。	雇用関連指標などが発表予定。中国が米輸入自動車の関税を他国と同様の水準まで引き下げると発表したことや、コモディティ価格に一服感がでてきていることなどから、為替市場は底堅い推移を想定。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
ニュージーランド 	AA+	2.48% （+0.03）	77.07円 （▲0.56%）	+2.8% 2018年2Q	1.75%	特段重要な経済指標等の発表はなし。リスク回避姿勢の高まりや、ポジション調整の動きなどから、軟調な展開となり、ニュージーランドドルは対円で下落。国債利回りは上昇。	経常収支やGDPなどが発表予定。海外市場に影響を受けやすい環境ではあるものの、年末相場でもあることなどから、方向感を出にくく、為替市場は一進一退の展開を想定。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
ノルウェー 	AAA	1.86% （+0.03）	13.16円 （▲0.52%）	+1.1% 2018年3Q	0.75%	発表されたCPIは市場予想を上回る結果。また、発表されたGDPは前回分を上回る結果。リスク回避姿勢が高まったことなどを受け、ノルウェークローネは対円で下落。国債利回りは上昇。	失業率などが発表予定。世界経済への懸念が強まるなか、中銀が将来の利上げペースが従来計画に比べやや鈍化する見通しを示唆したことには注意が必要。為替市場は年末相場の影響もあり一進一退の展開を予想。
	Aaa	 金利横ばい		 景気拡大	 利上げ局面		

出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 10年国債利回りを表示。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
















※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。

※政策金利については、オーストラリア：キャッシュレート、ニュージーランド：オフィシャル・キャッシュレート、ノルウェー：デポジットレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		12/14 （12/7との比較）	12/14 （12/7との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
南アフリカ 	BB+	8.43% （+0.10）	7.87円 （▲1.02%）	+1.1% 2018年3Q	6.75%	発表された小売売上高は市場予想を上回る結果の中、CPIは対前年比で市場予想を上回る結果。市場全体にリスク回避の動きがでたことなどから、ランドは対円で下落。国債利回りは上昇。	財政収支などが発表予定。年末が近づく中、海外勢がクリスマス休暇に入ることなどから、債券・為替市場はともにポジション調整などの動きに左右されやすい展開を見込む。
	Baa3	 金利横ばい		 景気停滞	 据え置き局面		
インドネシア 	BBB-	7.95% （+0.05）	0.78円 （+0.19%）	+5.2% 2018年3Q	6.00%	特段重要な経済指標等の発表はなし。米中貿易摩擦問題への懸念が残存する中、米国株式市場が軟調に推移したことや、海外投資家の債券売買フローの純流出が見られたことなどから、国債利回りは上昇。ルピアは対円で上昇。	貿易統計や中銀による金融政策決定会合などが予定。足元の為替市場が底堅く推移していることなどから、政策金利は据え置かれる見込み。引き続き、債券・為替市場はともに外部要因に影響を受けやすい展開を想定。
	Baa2	 金利上昇		 景気拡大	 利上げ局面		
インド 	BBB-	7.32% （▲0.05）	1.58円 （▲0.92%）	+7.1% 2018年3Q	6.50%	発表されたCPIや貿易収支は市場予想を下回る結果。中銀総裁の辞任を受け、再び中銀の独立性をめぐる懸念が意識されたことなどから、インドルピーは対円で下落。国債利回りは低下。	特段重要な経済指標等の発表はなし。引き続き、中銀の独立性をめぐる問題や、インドの州議会選挙で、政権与党が苦戦を強いられていることなどから、為替市場は上値の重い展開を想定。
	Baa2	 金利上昇		 景気回復	 据え置き局面		

出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる本国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（南アフリカ：5年、インドネシア：5年、インド：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。

※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

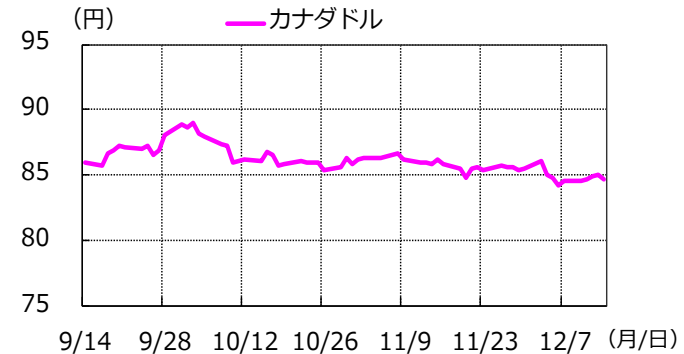
※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。

※政策金利については、南アフリカ：レポレート、インドネシア：7日物リバースレポ金利、インド：レポレートを表示。

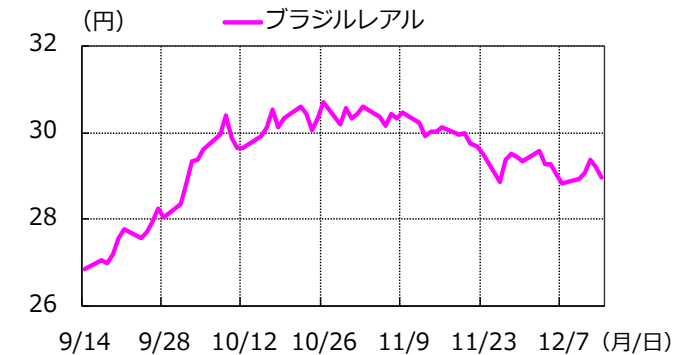
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2018/9/14～2018/12/14

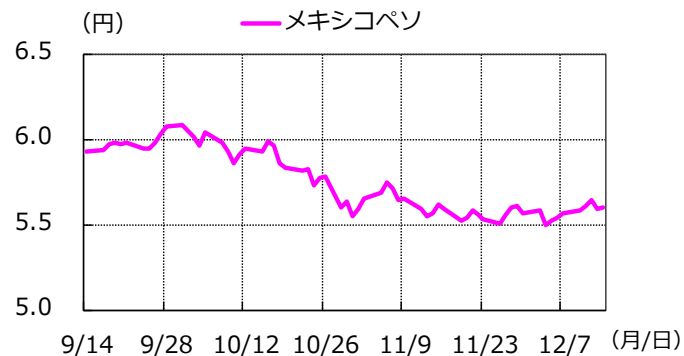
カナダ



ブラジル



メキシコ

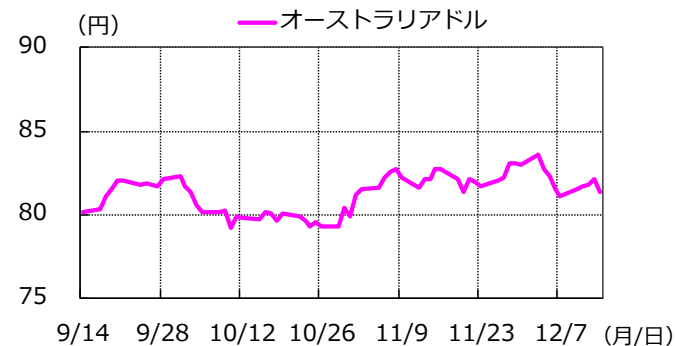


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

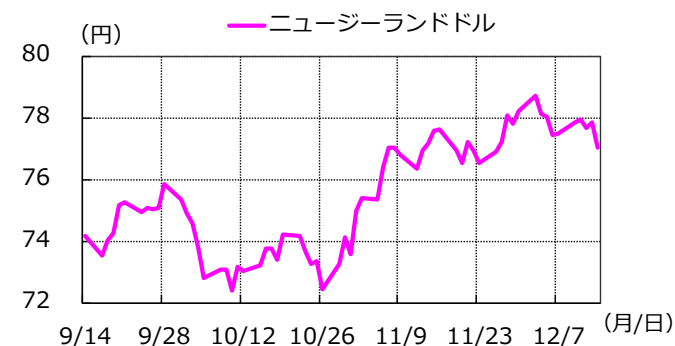
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2018/9/14～2018/12/14

オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー

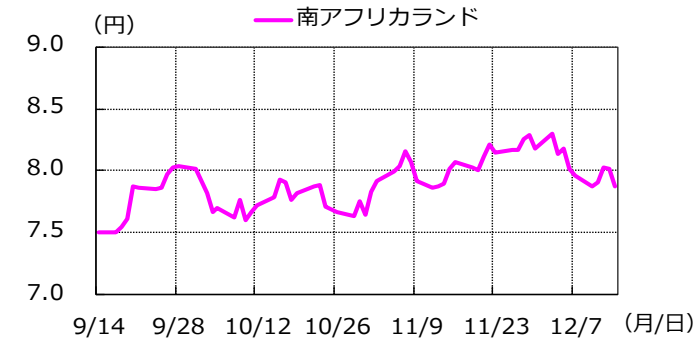
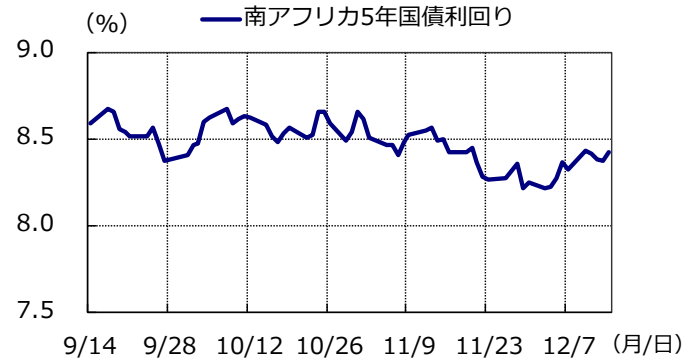


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2018/9/14～2018/12/14

南アフリカ



インドネシア



インド



※インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。 ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

【投資信託に係るリスクと費用】

● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.78%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.6824%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。

2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。